

福祉 あさくち



表紙のことば

最後の運動会

市立若葉保育園（鴨方町）は来年度から民間委託され、園舎も移転することから、若葉保育園としては最後の運動会が行われました。

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|----------------------------------|----------------|------------------|
| ☐ 本 所 | 浅口市鴨方町鴨方73 | TEL 0865-44-7744 |
| ☐ 金 光 支 所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL 0865-42-7308 |
| ☐ 寄 島 支 所 | 浅口市寄島町7540-5 | TEL 0865-54-3317 |
| ☐ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL 0865-54-3113 |

ふれあいサロン研修会を終えて

「ふれあいサロン」は、地域の中でご近所さん同士が集い、楽しみ、その中で日ごろの楽しみや感動を分かちあい、ちょっとした生活の中での困りごとを相談しあう、地域の中のお茶の間の様な場の総称です。

寄島会場

8月22日（金）

折り紙教室

レクリエーション実技

新聞紙・うちわ・タオルを使って遊ぶ

金光会場

9月24日（水）

ふろしき教室

レクリエーション実技

歌って、笑って、うちとけて

鴨方会場

10月14日（火）

パタカラ体操

レクリエーション実技

季節行事にひと工夫



タオル体操

ちょっとレク①

替えうた

水戸黄門の主題歌の節で「どんぐりころころ」を、逆に「どんぐりころころ」の節で水戸黄門を歌っても、不思議とぴったりと歌えます。

人生楽ありゃ苦もあるさ

どんぐり ころころ ドンブリコ

涙のあとには虹も出る

お池にはまって さあ大変

歩いてゆくんだしっかりと

どじょうが出て来て こんにちは

自分の道を ふみしめて

坊ちゃんいっしょに遊びましょう



ふろしき教室

ちょっとレク②

丸めてポイッ

（準備品）新聞を丸めてボールをつくっておく

（準備）中心線を引き、陣地を作る。

①足でボールを蹴って自分の陣地から相手の陣地に出す。陣地内にボールが少ない方が勝ち。

②蹴るだけでなく、座ったり中腰になったりして手でボールを出す。

※中心線にあまり近づかないようにする。

※新聞紙を丸めただけでも工夫して遊べます。



市の認知症支援のミーティング

特集 認知症を考える

高齢化の進行にともない認知症の方が増加しています。認知症患者の出現率は、65歳以上の6%といわれていますが、85歳以上の場合には27%と一気に跳ね上がります。認知症患者は物忘れや徘徊などによる介護負担が大きく、大きな社会問題になっており地域ぐるみでの対策が必要となっています。「福祉あさくち」では、6ページにわたり特集を組みました。

STEP1 理解

「痴呆症」から「認知症」へ。いつまでも心は正常です。

認知症の症状として引き起こされる行動は、病気として受け入れることが必要です。認知症が進んでもプライドは残っています。まわりの人の接し方によって症状が緩和し、こころ穏やかに暮らすことが出来ます。



浅口市がモデル指定

認知症地域支援体制構築等推進事業

浅口市では、認知症の人への理解が深まり、認知症になっても、誰もが、住み慣れた家や地域で、安心して豊かに暮らせるよう地域で支えあう体制を構築しています。

今年度、県からモデル指定を受けて「認知症地域支援体制構築等推進事業」に取り組んでいます。

関係者による検討会を開催して、支援体制の協議や認知症関連の講演会等の計画をしています。

早期に専門医の受診を

浅口医師会 会長 姫井 成

認知症とは後天的な認知機能の低下又は、精神機能の崩壊現象の事を認知症と呼びます。臨床的には血管性認知症と神経変性認知症の2つに分けられます。血管性認知症の原因で一番多いものは、多発性梗塞型であり、神経変性認知症で最も多いものはアルツハイマー型認知症です。

認知症の症状は、血管性認知症の場合は規則性を欠くことが多く、記憶力障害、計算、全般的理解力の低下は認められますが、障害される血管の部位により、維持されている能力と障害された能力にばらつきがあり、いわゆる「まだら症状」を呈しています。

一方アルツハイマー型認知症は比較的規則性を持って徐々に病状が進行します。最初に近時記憶障害が起こり、新しい体験や情報の記憶が難しくなり、さらに進行すれば古い情報に関する記憶が障害され、場所に関する記憶が障害され外出して家に帰れなくなったり、日常の買物等も

困難となって来ます。さらに着衣、摂食、排便も介護が必要となり、徘徊もみられ、失語、失行、失認や色々な妄想が出現し、暴言・暴力をふるうこともあります。さらに進行すれば、自分の配偶者、子供、両親、兄弟の名前を忘れ、目の前の家族に「だれですか」と尋ねたりもし、最終的には寝たきりとなります。

治療法は薬物療法と非薬物療法（生活のケア）の2つの方法を組みあわせて行います。薬物療法には決定的に有効なものはなく、せいぜい1年間位認知症の進行をおくらせることが出来る程度です。

非薬物療法としては通所介護（デイサービス）又は通所リハビリテーション（デイケア）の2つの方法が、認知症の進行を遅らせるには有効な治療法と考えられています。いずれにしても、現在の医学のレベルでは認知症を完治させることは難しいようですが、専門医の受診が必要です。

認知症高齢者の地域生活を 支える仕組みづくり

川崎医療福祉大学 講師 川上 富雄

高齢化の進展とともに認知症患者の数も急激に増加しています。浅口市には、要介護認定を受けている高齢者の中で認知症の方が約八百名、未認定で日常生活を送られている潜在的認知症患者を含めると約千人はいるだろうと推計されています。

この内、病院や施設に入って居られる方が約四百人です。認知症症状がありながら在宅で暮らす方々の方が多数です。皆さんの身近には、近隣との摩擦が絶えない方、徘徊や迷子などを繰り返す方など気になる方はいないでしょうか。また、そうした認知症高齢者を支える家族の介護疲れの問題も深刻です。独居高齢者の認知症問題も、事故・健康・安全・経済面など多くの問題を抱えています。その他、通院や買物のための外出、家計の管理、重要書類や印鑑等の紛失防止、訪問販売や詐欺からの防衛、

ゴミ出し（分別）、孤独感と話し相手、地域からの孤立とゴミ屋敷・イヌ屋敷・ネコ屋敷問題、服薬管理、火災等の心配、車や自転車の運転の心配、などなど数え上げればキリがありません。

こうした認知症高齢者の地域生活を支えるためには、保健・医療・福祉の専門機関と関連機関・住民のネットワークでの対応が不可欠です。浅口市では、医療・保健・福祉だけでなく、警察・消防等幅広い分野の機関との連携づくり、民生委員・福祉委員や様々な地域住民組織との連携促進、近隣住民の理解と協力を得た個別支援体制の構築などに取り組んでいます。さらには、認知症に対する住民の理解を高め、これらの活動に参加していただく「認知症サポーター」養成を開始しているところですが、皆さんもぜひ「認知症サポーター養成講座」にご参加ください。

特集 認知症を考える

みんないい顔です - ふれあいサロン -



主御門綾女さん

(78 歳・鴨方町六条院西)

この地にサロン会ができて七年になりますが、一回も休まずに出席されてもらっています。家では一人暮らしなので、サロン会がとにかく楽しみです。みんないい顔をしてきています。それもこれもお世話いただくボランティアの方が、よくしてくださるのが嬉しいです。



ふれあいサロンとは、地域の中でご近所さん同士が集い、その中で日ごろの楽しみや、ちょっとした生活の中での困りごとを相談しあう、地域の中のお茶の間のような場をいいます。詳しくは社会福祉協議会（☎44-7744）

昼間一人ぐらしだから - 老人憩いの間 手芸教室 -



貝畑竹子さん

(86 歳・鴨方町小坂西)

若い人は仕事に出かけて昼間は一人なので、家に閉じこもってはいけないと思い、手芸教室に参加しています。家の人が車で健康福祉センタ



憩いの間手芸教室とは、健康福祉センターの憩いの間の空き室を利用した手芸教室。
ほぼ毎日10時～16時の間に管理人が指導してくれます。材料費は自己負担。

詳しくは老人憩いの間 (☎44-6303)

STEP2 予防

「だいぎな」年を取られた方からよく聞く言葉です。しかし、閉じこもってばかりでは、身体にも精神的にもよくありません。各人に適した形で地域や社会と関わっていることが大切です。ここでは高齢者が参加できる受け皿と活躍している方を紹介します。

年をとっても自分らしく、閉じこもりは注意信号です。

月2回が待ち遠しいーいきいき体操ー



応本一義さん

(82歳・寄島町)

「いきいき体操に行くと気持ちがええ。待ち遠しいですなー。」といきいき体操の出席カードを見せてくれるのは、応本一義さんです。肩が痛かったり、家で転倒することもありましたが、保健師さんが誘ってくれ、いきいき体操に行くようになりました。習ってきた体操は家でも続けているという。男性が少ないので、男の人にも大いに参加してもらいたい。



いきいき体操とは、満65歳以上の人を対象として、足腰の筋力低下を防ぐため体操を毎月2回実施しています。金光・鴨方・寄島の3会場で実施しています。

詳しくは、市高齢者支援課（☎44-7113）

いつまでも働くことの喜びをーシルバー人材センターー



佐藤幸恵さん

(82歳・金光町佐方)

動けるうちは仕事をして人の役に立ちたいと思い、シルバー人材センターに加入したのは平成17年。以来、草取りを専門に仕事をしています。この日もいつものメンバーと庭の草取りに汗を流します。仕事の仲間はシルバーに入って知り合った人ばかりですが、今では気心も知れた間柄。庭がきれいになったと喜んでもらおうと嬉しいと、笑顔がこぼれます。



シルバー人材センターとは、高齢者の技術や経験を社会に生かしていただくために、一時的短期的な仕事をお願いしています。おおむね60歳から加入できます。毎月入会説明会を行っています。

詳しくは、市シルバー人材センター（☎42-9778）

特集 認知症を考える

STEP3
支援

サービスは上手に使い、近所の人にも助けてもらおう。

認知症の方とご家族は、決して孤立してはいけません。専門医の治療を受けながら、介護保険による各種サービスを必要に応じて利用しましょう。そして近所の人にも、遠慮せず助けてもらうことです。「困ったときはお互い様」「助けられたい助けたり」の土地柄を作ってゆきましょう。ここでは認知症の方を支援する制度や機関を紹介します。



認知症サポーターになりましょう

●サポーターとは

認知症サポーターとは、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援する人です。認知症のサポーターの役割は、何か特別なことをするのはなく、認知症を理解して地域であたたかい目で見守ることです。

●認知症サポーターになるには

浅口市高齢者支援課が実施する「サポーター養成講座」を受講していただいた方が、認知症サポーターです。

●養成講座を受けるには

平成20年度は、民生委員・児童委員・福祉委員・老人クラブ会員を対象に講座を開催いたします。

なお、認知症サポーターの対象者は、地域住民、職域、学校、広域の団体・企業等の従事者などです。講座の受講を希望される場合は、浅口市高齢者支援課（電話44-7113）へお問い合わせください。



認知症サポーター受講者に贈られるブレスレット

介護者の会

介護者は手をつなごう

高齢者を介護しているご家族には、固有の悩みや不安があるものです。介護者の会は「リフレッシュ・交流・研修」を3本柱として、毎月定例会を実施しています。リフレッシュとしては料理教室やフラワーアレンジメント。茶話会や日帰り旅行で交流を図り、保健福祉医療に関する勉強会を実施しています。

定例会 偶数月……第2木曜日

奇数月……旧町ごとに開催

詳しくは、社会福祉協議会 ☎44-7744へ

成年後見制度

法的な権限で財産管理

成年後見制度は、認知症の高齢者や知的障害、精神障害により判断能力が十分でない方の財産管理や身上監護をご本人に代わって行う制度です。悪徳商法の被害にあいやすい方や身寄りのない方が、安心して生活できるよう、法的に権限を与えられた後見人等が支援します。

詳しくは、市包括支援センター ☎44-7388

小規模多機能ケアホーム

「通い」「来てもらい」そして「泊まれる」

「通い」とはディサービス、「来てもらい」とはホームヘルパー、「泊まれる」とはショートステイ。なじみのスタッフに一貫してお世話していただくシステムが小規模多機能ケアです。認知症の方の落ち着いた在宅介護に効果があるといわれています。

詳しくは、市高齢者支援課 ☎44-7113

さつきの里小規模多機能ホーム ☎42-6622

行方不明者 連絡網

行方不明に備えたネットワーク

認知症の方が行方不明になる事が時々発生しています。このほど介護支援専門員連絡協議会では、玉島警察署と連携を図って、浅口市里庄町内の介護保険のサービス事業者や施設による、行方不明者の対策のための連絡網を整備しています。介護事業者や施設にとっては、利用者の方がいつ行方不明になるかも知れないとの思いから連絡網の整備を行いました。

詳しくは、浅口介護支援専門員連絡協議会

☎54-3113

敬老会 カメラルポ



↑中山峠（鴨方）
地域の子どもたちから、お祝いの
メッセージが手渡されました。



↑佐方（金光）
オーケストラの生演奏にあわせて
思わず口ずさむ参加者も...



↑駅・胡麻屋（金光）
七福神の登場で
健康と家内安全を
祈りました。



↑共愛（鴨方）うどん・焼そば・たこ焼を持ちより長寿を祝いました。

向月（鴨方）

子ども神楽を地域ぐるみで観賞しました。



↑中安倉（寄島）

氷川きよし（?）も登場です。

犬飼（鴨方）→
和太鼓の勇壮な音と
琴の優雅な音色が
会場をつつみました。



←中四条原（鴨方）

福祉員さんの笠踊りで
子どもたちもおどります。

老人クラブが
訪ねる

浅口探訪 ⑧ 「孝子基助のお墓」



孝子基助の墓

柴木悠々クラブ

(田中宗徳さん)

寄島町柴木中屋地区の寄里農免道の脇より西へ100mほど入った山の中に孝子基助さんのお墓があります。

初代孝子基助さんは今から350年ほど前(江戸時代初期)の方で、熱心に親孝行したこと

で有名です。朝は母より先に起きてお茶を入れ、たき火をして母を暖め、母が寝つけない夜は枕元で話をして母が眠ってから床に入るような孝行がふりでした。

基助さんの孝行ふりは岡山藩主池田光政公の耳に入り、光政公は基助さんの親孝行と誠実な生き方に大変感動し、田畑五反と感書を褒美として与えました。四代目曾孫基助さんも親孝行で知られ、当時の池田継政公より表彰されています。

「小学校の頃は、春秋の彼岸の日には学校で孝子基助さんのお墓に参ったものです」「昔は修身(道徳)の教科書に孝子基助さんのお話が紹介されていました」(田中宗徳さん)

老人クラブでも紙芝居で基助さんの孝行のお話を紹介しています。孝子基助さんの善行は寄島町の誇るべき先人の実話として今に伝えられています。



みんなの食育

地産地消

地産地消は「地域生産―地域消費」を短くした言葉で、「地域でとれた生産物を地域で消費する」という意味です。「四里四方(約16km四方)で取れるものを食べる」と健康に良い」という考え方が地産地消の原点とも言われています。近年、栄養バランスの偏った食生活や生活習慣病の増加、食料自給率の低下などが顕在化しており、一方で食品の虚偽表示等の問題から消費者の食の安全・安心に対する関心が高まっています。そのような中で、最近、全国各地で「地域でとれた生産物を地域で消費する」地産地消の重要性が見直されています。さらに食品の輸送エネルギーや資材の節約という「工」の観点からも地産地消が注目されています。



探して並べて

今回の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あります。この7文字をならべかえて、言葉をつくって下さい。

◆締め切り

12月20日 消印有効

◆前回のこたえ

ザンシエミマイでした。

◆ヒント

尾道や枚方で有名です。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-10243 鳴乃町鳴乃73番地 浅口市社会福祉協議会まで、正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。



お達者さん

久戸瀬善平さん（95歳）

金光町（占見新田）

日課は？

毎朝、30分間の観音経を唱ようります。

写経も平成5年くらいからほぼ毎日書きようります。昔は筆で書きようりましたけど今はもっぱらペンになってしまいました。《何千も写経され、取材者及び同行者驚嘆する》

楽しみは？

町の老人大学の俳句部に所属していて、月に1回の定例会を楽しみにしております。

（ここで一句「秋深む 福祉だよりに 老い語る」）

テレビでのスポーツ観戦も大好きで、野球に相撲にサッカーになんでも観ます。スポーツ新聞も欠かさず目を通します。

老人クラブのグラウンドゴルフも参加させていただきようたんですが、腰をちょっと痛めて今はお休みしようります。

外に出ることも好きなので地区のふれあいサロンも毎回参加させてもらようります。ボランティアの方がようしてくださるので楽しいです。

元気の秘訣は？

毎日、規則正しい生活をする。年中朝は6時過ぎには起きて乾布摩擦をしようります。

《今頃からしようたら体が慣れるから冬になっても苦にならんと薦められました（笑）》

戦争…

二十歳の時徴兵検査を受けました。

戦地に出向くことなく終戦を迎えたけど、辛かった思い出はハンモックを設置する競争を毎日のようにさせられて背が低いのでいつも遅く罰で兵舎の周りを夜中に走らせられた事。火薬の警備をして山の上から下を見下ろすと、夜の闇の中B29が爆弾を落とすのを鮮明に覚えております。



20歳のころの久戸瀬さん

歳末見舞金支給のお知らせ

対象者

- 身体障害者手帳 1・2級
- 療育手帳 A・B
- 精神障害者保健福祉手帳 1・2級 の保持者
- 母子・父子世帯
(義務教育以下のお子さんを一人親で養育している方)

の方で下記の条件にすべて該当する方

- 市民税が均等割り以下の世帯
- 市内に住所を有する方
- 在宅で生活されている方

締切り

11月28日(金) 厳守

(所定の用紙が、社協本所・支所にあります。)

手話奉仕員養成講座はじまる

手話通訳の奉仕員を養成する講座が開催されています。この講座は、浅口市聴覚障害者協会の要望を受けて行われているもので、来年3月10日までに20回開かれます。



鴨方はるか会20周年

音訳ボランティア「鴨方はるか会」は、視覚障害者のため広報誌をテープに吹き込む活動をしています。このほど20周年の記念式を行いました。会には、田主市長をはじめ音訳テープ利用者が出席しました。



子育てボランティアさん募集

浅口市社会福祉協議会では、地域で支えあう子育てを目指して子育てサロン「なかよしひろば」を月2回開催しています。

子育てサロン「なかよしひろば」ではそんな子育ての力になってくれるボランティアさんを募集しています。

開催日程

○毎月第3金曜日

場所：寄島ふれあいセンター

○毎月第4水曜日

場所：寄島保健センター

※行事によって日程・場所は変わることもあります



◆連絡先◆

浅口市社会福祉協議会寄島支所 (☎54-3317)

8月1日～9月30日分

篤志御礼

(平成20年10月15日まで)

ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 唐井一磨さん(地頭下)より
亡父 辰雄さんの香典返し
- 泊ヶ山義和さん(下竹)より
亡妻 順子さんの香典返し
- 市川秀隆さん(古見新田)より
亡父 正友さんの香典返し
- 中務政枝さん(大谷)より
亡夫 静太さんの香典返し
- 定金晃三さん(須恵)より
亡母 房枝さんの香典返し
- 定金信也さん(須恵)より
亡妻 佳子さんの香典返し
- 工藤一郎さん(古見新田)より
亡母 加菜子さんの香典返し
- 金光町土木委員会より
一般寄付

鴨方町

- 明石光一郎さん(鴨方)より
亡父 将夫さんの香典返し
- 今城照子さん(鴨方)より
亡夫 保さんの香典返し
- 筒井由紀子さん(本庄)より
亡母 絹江さんの香典返し
- 羽川和彦さん(鴨方)より
亡母 重子さんの香典返し
- 横田悦造さん(益坂)より
亡母 松子さんの香典返し
- 藤沢 雅さん(六条院西)より
亡母 秀子さんの香典返し
- 水廣晋一さん(六条院東)より
亡父 猛爾さんの香典返し
- 遠藤洋二さん(六条院中)より
亡母 孝江さんの香典返し
- 早川謙司さん(小坂西)より
亡父 克巳さんの香典返し
- 竹下 茂さん(本庄)より
篤志寄付

寄島町

- 岡本浩一さん(中安倉)より
亡妻 智得さんの香典返し

市外

- 多田羅光之さん(大浦)より
亡父 秀忠さんの香典返し
- 田中文昭さん(東安倉)より
亡父 安道さんの香典返し
- 村上清隆さん(三郎)より
亡祖母 マキさんの香典返し
- 田中宗徳さん(柴木)より
社会福祉事業へ篤志寄付
- 竹本俊治さん(青佐)より
亡父 弘さんの香典返し
- 横山 昇さん(早崎)より
亡母 武子さんの香典返し
- 頃末十三さん(宮通)より
亡母 恭子さんの香典返し
- 秋田隆司朗さん(柴木)より
亡母 みや子さんの満中陰志
- 水廣澄枝さん(国頭)より
亡夫 賢造さんの香典返し
- 小笠原澄恵さん(西安倉)より
亡夫 照男さんの満中陰志
- 平井昌雄さん(岡山市)より
亡父 嵩さんの香典返し
- 井上英弘さん(大阪市)より
亡母 ヤヨミさんの満中陰志



てもらいました。

寄島町・大室さん

今回の「すすむ少子高齢化」を興味深く読みました。私たちも高齢者になり、地域福祉の充実が必要と思っています。

金光町・柳野さん

今号のお達者さん(前田武雄さん)の記事は胸を打ちました。若い人にはこうした高齢者から多くのことを学んでください。

鴨方町・勝田さん

結婚して3年、子どもも2歳になり、金光に帰って来ました。浅口市の福祉やボランティアのことがよくわかり、楽しみに読みました。

金光町・小林さん

共同募金にご協力を

じぶんの町を良くするしくみ。



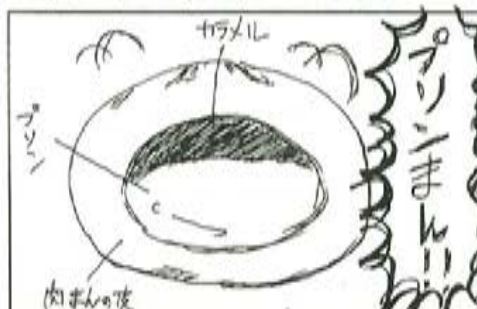
昨年は浅口市全体で5,819,775円の募金が集まりました。共同募金は、集まった金額の約50%が地元の社会福祉協議会に配分されます。主な使い道は、ボランティア活動の支援、一人暮らし老人への支援、社協だよりの発行などです。

赤い羽根は募金をした印です。
赤い羽根を着けましょう。

編集後記

認知症の話題が身近なことになっています。今号では認知症を特集で取り上げました。取材にご協力、寄稿いただきました皆さんに感謝します。向寒の候、ご自愛ください。(土)

福あさ 提供：幡方高校まんが愛好会
画：クロ



高齢者・障がい者なんでも相談会

★日 時：平成20年11月15日（土）10時～15時

★場 所：浅口市健康福祉センター

☆相談料無料 ☆事前予約不要

★電話でのご相談は... TEL：070-5042-9253

(電話料金はあなたのご負担です)

★弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、社会保険労務士、税理士、建築士、介護支援専門員等々の専門家が相談をお受けいたします。

※なお、当日、都合により特定の専門家で対応できない場合もございます。